



2015年8月24日

報道関係者各位

DIC株式会社

〒103-8233 東京都中央区日本橋3-7-20

ディーアイシービル

### DIC 高透過率の液晶を新発売

#### 次世代液晶として注目される n 型 FFS 液晶を販売開始

DIC株式会社（本社：東京都中央区、社長執行役員：中西義之）は、液晶テレビやスマートフォン、デジタルカメラなどの液晶パネルに用いられる TFT（Thin Film Transistor）液晶の一種で、水平駆動の FFS（Fringe Field Switching）と呼ばれる n 型液晶（n 型 FFS）を開発し、出荷を開始しました。

高精細かつ高品質な画像が求められる液晶テレビやスマートフォンの液晶パネルには、TFT で液晶の動作を制御するパネルが主に使われています。このパネルで使用される液晶は TFT 液晶と呼ばれ、液晶分子の配向の違いから n 型と p 型、更に電圧をかけた際の動作モードの違いにより、垂直に駆動する VA（Vertical Alignment）や、水平に駆動する IPS（In Plane Switching）などがあります。

これらはそれぞれの組み合わせごとに特徴があり、テレビ用途には高コントラストが表現できる n 型液晶の VA モード（n 型 VA）や、広い視野角が実現できる p 型液晶の IPS モード（p 型 IPS）が使用され、製品化されています。また、スマートフォンやタブレット PC などには、タッチパネルに触れた際の画像安定性に優れる p 型 IPS が主に使用されてきました。

一方、近年、IPS 同様にタッチパネルとの相性の良い、水平に駆動する n 型 FFS と呼ばれる液晶が開発されました。同液晶は、p 型 IPS よりも光透過率が 20%程度高く、その特徴ゆえ消費電力を低く抑えられるため、バッテリー駆動時間の向上を目指すスマートフォンやタブレット PC での採用が進んでいます。

当社ではこの市場の動きに合わせ n 型 FFS の開発を進めていましたが、今般、開発に成功し、関連特許も登録されたことから、海外ユーザーへの出荷を開始しました。現在、生産は埼玉工場の既存設備で行っていますが、今後のユーザー数や需要の増加に合わせ、青島迪愛生精細化学有限公司（中国）での生産も予定しています。

n 型 FFS 液晶は、消費電力が少なく、バッテリー駆動時間の向上に寄与することから、現在はスマートフォンやタブレット PC などの中小型ディスプレイで使用されていますが、将来的には大型ディスプレイへの展開も期待されています。

液晶パネル市場は、新興国を中心とした需要増と液晶テレビの大型化により、2020年までの推

# Press Release



**DIC株式会社**

定では面積ベースで年率 3%程度伸長と言われていています。当社では引き続きこの次世代を担う液晶の開発を鋭意進め、拡大する需要を確実に取り込むことで、近い将来には液晶事業全体で世界シェア 30%以上を目指す所存です。

以上

報道機関からのお問い合わせ    コーポレートコミュニケーション部  
お客様からのお問い合わせ    液晶材料営業部

TEL 03-6733-3033  
TEL 03-6733-5924